

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET

会 報

第4号（2009年4月）

目 次 CONTENTS

・ 事業報告	2
・ 現地見学会報告	5
・ デモンストレーション部会報告	9
・ 第2回デモンストレーション部会報告	10
・ 協力セミナー報告	11
・ 平成20年度会計報告	12
・ 会員動向	14
・ お願い	14

2008年度事業報告書

I 事業期間

2008年 4月 1日 ~ 2009年 3月 31日

II 事業の成果

現地見学会を開催し、広く市民に対して地盤及び地下水に関して環境の保全を図るため技術的、科学的知識の伝達を行うとともにおおさかA T C グリーンエコプラザビジネスセミナーとの連携を図った活動を行った。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 現地見学会

【内 容】交野市南部地域の水資源と地質を訪ねて

【実施場所】大阪府交野市

【実施日時】2008年 11月 16日

【事業の対象者】一般市民

【収 入】なし

【支 出】20,000円

(2) セミナー支援活動（主催者：おおさかA T C グリーンエコプラザ）

【内 容】環境ビジネス支援セミナー

【実施場所】おおさかA T C グリーンエコプラザ内ビオトーププラザ

【実施日時】2009年 2月 25日

【事業の対象者】一般市民

【収 入】なし

【支 出】なし

(3) 各種情報提供サービスに関する事業

【内 容】広報活動(会報、ホームページ)

【実施日時】通年

【事業の対象者】会員、一般市民

【収 入】なし

【支 出】50,000円

(4) 研究会参加(おおさかA T C グリーンエコプラザ主催)

【内 容】水・土壤汚染研究部会

【実施場所】おおさかA T C グリーンエコプラザ内ビオトーププラザ

【実施日時】通年

【収 入】なし

【支 出】年会費 12,000円

(5) 土壤汚染分析事業

【内 容】意見書作成（2件）（依頼者：建設会社、製作所）

【実施日時】通年

【収 入】224,700円

【支 出】100,000円

IV 社員総会の開催状況

(1) 名 称：平成19年度通常総会（日程の関係上昨年度実施）

日 時：2008年3月29日 10:00～12:10

場 所：大阪駅前第2ビル大阪市立大学文化交流センター

出席者数：23名（委任状出席者15名）

議案内容：第1号議案 平成19年度年度事業報告

平成19年度の実施してきた事業活動について報告した。

第2号議案 平成19年度財産目録・貸借対照表・収支計算報告書
平成19年度 財産目録、貸借対照表、収支計算書報告を示し説明した上で、承認された。

第3号議案 平成20年度事業計画
平成20年度の事業計画について報告し、その内容について承認された。

第4号議案 役員の再任（重任）
役員の再任（重任）について承認された。

V 理事会の開催状況

(1) 名 称：理事会

日 時：2008年6月9日 18:00～21:10

場 所：大阪駅前第2ビル大阪市立大学文化交流センター

出席者数：8名

議案内容：第1号議案 現地見学会開催について
11月中旬に三田村理事に案内をしていただくことで実施することが承認された。

第2号議案 出前講座の開催について
積極的に出前講座を実施していくことについての原則を審議し承認された。

第3号議案 枚方市からの依頼について
当NPOへの相談事項について実施していくことが承認された。

- 第4号議案 ホームページ更新の件
ホームページの更新に必要な事項について審議し承認された。
- 第5号議案 監事新任の件
佐野正人監事の後任として篠原正男氏に新任監事を就任してもらうことで承認された。

(2) 名 称：理事会

日 時：2009年2月21日 10:00～12:00

場 所：大阪駅前第2ビル大阪市立大学文化交流センター

出席者数：9名（委任状出席者3名）

議案内容：第1号議案 平成21年度活動計画・予算について
11月に開催されるジオ・カーニバルに参加すること及び
21年度単年度予算について承認された。

第2号議案 会報の発行について

会報の発行月を1月から5月変更することが承認された。

第3号議案 枚方市からの依頼について

枚方市からの依頼について実施していくことで承認された。

第4号議案 ホームページ更新の件

今年度もホームページの内容充実に向けた活動をしていくことが承認された。

第5号議案 平成20年度の通常総会の件

平成20年度の通常総会は4月4日に実施することで承認された。

（文責：専務理事 載 忠希）

現地見学会報告

交野市南部地域の水資源と地質をたずねて 【2008年11月16日(日)実施】

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境N E T

専務理事 戴 忠希

当日は午前中雨のため、キャンセルする人もありましたが、午後には雨も上がり、無事予定通りの行程で現地見学会は終了しました。

参加者はJR片町線 星田駅前に午前9時30分に集合し、9時45分に出発となりました。約7Kmの歴史的な道のりを楽しく散策できました。今回もお子さん連れで参加された人もおられ非常に楽しい小旅行ができました。

今回の現地見学会の案内役は、当N P Oの理事である大阪市立大学理学部の三田村宗樹准教授です。地下水と地質との関係を伺いながら、交野市南部地域の水資源について勉強できました。

最終地点は、酒造酒半です。ここでは皆さんお土産として日本酒を購入され本日の晩酌の準備が完了し帰宅となりました。

今回の現地見学会の行程は以下の通りです。

星田駅前 9:45—東高野街道—山根街道跡—10:15 強地(コヅチ)の湧水(STOP 1)10:45—11:00
星の森遺跡(STOP 2)11:15—11:30 風化花崗岩と災害井戸(STOP3)11:45—12:00 大阪層群
の海成粘土層(STOP 4)12:20 灌漑井戸(STOP 5)—12:40 星田妙見宮(STOP 6)
13:30—14:00 交野断層崖(STOP 7)—14:15 大阪府最古の砂防堰堤・加賀田用水取水口
(STOP 8)14:45 —15:00 交野市水道水源井 No.9(STOP 9) 15:15 —15:40 酒造酒半
(STOP10)16:20—河内岩船駅前解散 16:30



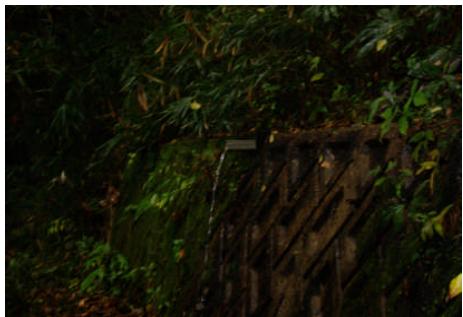
[東高野街道]

東高野街道の古い町並みを昔をしのびながら歩きました。
所々に常夜灯があり、趣のある通りです。



[山根街道跡]

山根街道跡をハイキングです。雨が降っていたので少し道がぬかるんでいましたが怪我人もなく一安心です。



[強地(ヨウジ)の湧水]

大阪層群の丘陵湧水地です。
当時は雨が降っていたので比較的水量が多かったみたいです。

飲料水としては不適なようです。



[星の森遺跡]

弘法大使大師伝説の「七曜の星」(北斗七星)が降り、星田の三箇所(星の森・妙見山・光林寺)三箇所に落ちたとされ、それぞれの距離が八丁あることから八丁三所(ハチヨウミトロ)と呼ばれています。遺跡として残された敷地内には星の降った跡地とされる箇所に塚が築かれていました。



[災害井戸]

南星台の住宅地には災害用の井戸が設置されており、町ぐるみで生活環境の改善に取り組んでいる。

当時は偶然当地区の区長さんとお会いできいろいろとお話を聞けました。



[露頭観察]

大阪層群の海成粘土層の露頭です。
約30度近く傾斜しています。



[灌漑井戸]

交野市の灌漑水利組合の所有する灌漑井戸の小屋です。交野市には灌漑用の井戸が各所に存在します。その多くは掘削深度200m程度までということです。



[星田妙見宮]

八丁三所のひとつである星田妙見宮。



[星田妙見宮の御神体]

100段以上の階段を登ると花崗岩の風化核が御神体として祭られている。



[大阪府最古の砂防堰堤・加賀田用水取水口]

江戸期を起源とする灌漑用水施設と大阪府下で最も古いとされる石積み砂防堰堤。扇状地に位置する星田の地名由来は「干田」とされ、表流水に恵まれなかつたため、扇頂部で取水し、下流域へ配水する用水施設が造られてきた。加賀田用水はそのひとつです。



[用水路に生息するカワニナ]

周辺にはホタルが生息しているとのこと。ホタルを殖やすには、そのえさとなるカワニナがよく育ち、稚貝がたくさん生まれるように、河川をきれいにし、川にゴミを捨てないなどの条件整備に力を注ぐことが大切です。河川や周りの森を含めた自然環境が整備されると、ホタルは自然に殖えて飛ぶようになります。



[交野市水道水源井]

交野市の上水道は、府営水40%、井戸水60%で構成されている。取水深度は200~300mである。
地下水を大切にする土地柄です。



[酒造酒半での記念撮影]

酒造りにはきれいなお水が必要です。
酒造りの工程を学びました。現在は近代的な手法を用いて造られています。

皆さんご苦労様でした。

デモンストレーション部会報告

専務理事 戴 忠希

部会名称：デモンストレーション部会

実施日時：2008年12月6日 PM 2:00~6:00

場 所：NPO 法人地盤・地下水環境 NET 本部事務所

目 的：液状化実験のビデオ撮影、来年度のジオ・カーニバル参加に向けた会議

参加者：中川康一、戴忠希、奥田庸雄、長谷川俊樹、鈴木正彦、中嶋載雄、原和弘

①液状化実験のビデオ撮影

平成20年11月1,2日に大阪市立科学館で開催されたジオ・カーニバルでは、中川理事長の講演による【地震の発生と液状化現象】での液状化実験デモンストレーションが行われました。この時には子供だけではなく大人も参加しており、実際に当デモンストレーションを見た方々の反響を肌で感じました。

このため、広く市民に液状化現象を理解してもらうために当NPOで実験内容を映像で提供していきたいと考え、液状化実験のデモンストレーションのビデオ撮影を実施しました。

水分調整が難しく何回かのトライアルの結果無事撮影は完了しました。上面だけでなく側面も観察できるようにビデオを設定しました。この結果、模型構造物の倒壊だけでなく埋め込んでおいた地下駐車場の浮き上がりも明確に観察できます。この結果はホームページ上にアップする予定です。



②来年度のジオ・カーニバル参加に向けた会議

来年度のジオ・カーニバル参加に向けて当NPOで展示していく方向で検討会を実施しました。柴山理事のアイデアを基に、ペットボトルを使用した液状化実験について検討を行いました。原建材の原和弘さんより提供していただいた砂で実験しまいしたが、実験用具の作成は比較的難しく、ガラスピーブ等の使用がいいと分かりました。詳細には、次回に提示できる予定です。

第2回デモンストレーション部会報告

専務理事 戴 忠希

部会名称：デモンストレーション部会

実施日時：2009年1月24日 PM 3:00～5:00

場 所：NPO 法人地盤・地下水環境 NET 本部事務所

目 的：来年度のジオ・カーニバル参加に向けた会議

参加者：中川康一、戴忠希、奥田庸雄、

①来年度のジオ・カーニバル参加に向けた会議

来年度のジオ・カーニバル参加に向けて当NPOで展示するペットボトルを使用した液状化実験についてデモンストレーションを行いました。

この内容は2月に実施予定の理事会にて再度示していく方向で合意した。

協力セミナー

開催日：2009年2月25日

主催者：おおさかATCグリーンエコプラザ

会場：おおさかATCグリーンエコプラザ ビオトーププラザ

セミナー名：環境ビジネス支援セミナー【都市の水資源・水ビジネスを創造する】

上記のセミナーに当NPOの中川康一理事長が基調講演を行いました。講演の表題は『より良い水環境の創造のために—地下水の有効活用—』です。

近年、「水資源」をめぐって国際的な水ビジネスの動きが活発になっています。貴重な水資源をいかに有効に利用するかということは、国内においても重要な課題です。今回のセミナーでは、特に都市における地下水の有効利用や雨水・中水の利用、水の循環利用に焦点をあてて開催されました。

当NPOに中川理事長による基調講演は、以下の構成で行われました。

- ① 都市の地下構造特性と地下水
- ② 地下水位と地盤の安定性
- ③ 地下水の有効利用
- ④ 大阪府島本町の場合
- ⑤ 地下水は誰のものか
- ⑥ 地下水コントロールセンター



都市の地下水に関わる諸問題として以下の事項について解説を行いました。

- ・ 表層地下水の水位上昇
- ・ 被圧地下水低下による地盤沈下
- ・ 地質汚染（化学的・生物的）
- ・ 渇水期の飲料水不足
- ・ 災害時診療用・生活用水の確保
- ・ 植栽用、清掃用、雑用水
- ・ 一元化水源 等



現在都市が抱えているヒートアイランド現象に関しては、従来から中川理事長が研究を推進してきた各種の散水実験を紹介し、屋上緑化、壁面緑化に必要となる地下水の有効利用とビジネスに関するアドバイスを行うとともに、専用水道に関する問題点や、自治体での地下水利用の現状について紹介を行いました。



(文責：専務理事 戴 忠希)

平成20年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境NET

科 目	金 額		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入	15,000		
正会員会費収入	180,000		
賛助会員会費収入	180,000	375,000	
2 事業収入			
土壤汚染解析事業収入		224,700	
3 雑収入			
受取利息		1,018	
経常収入合計			600,718
II 経常支出の部			
1 事業費			
通信費	6,950		
事務用品費	1,350		
消耗品費	5,861		
賃貸料	10,000		
支払手数料	1,470		
租税公課	1,000		
旅費交通費	9,360		
雑費	2,000		
諸会費	12,000		
外注費	86,750		
支払報酬	90,000		
同支払源泉	10,000	236,741	
2 管理費			
給料手当	349,200		
同支払源泉	10,800	360,000	
経常支出合計			596,741
経常収支差額			3,977

III その他資金収入の部			
その他資金収入の部合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出の部合計			0
当期収支差額			3,977
前期繰越収支差額			808,675
次期繰越収支差額			812,652
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			3,977
当期収支差額			
2 負債減少額		0	
増加額合計			3,977
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額		0	
2 負債増加		0	
減少額合計			0
当期正味財産増加額			3,977
前期繰越正味財産額			808,675
当期正味財産合計			812,652

会員動向

(平成 21 年 4 月 1 日現在)

正会員 21 名
賛助会員 8 団体

入会順

帝人エコ・サイエンス株式会社
株式会社 日さく 西日本支社
株式会社 日開調査設計コンサルタント
株式会社 エコ・アース
株式会社 東京ソイルリサーチ関西支店
株式会社 田岡化学分析センター
中央開発株式会社
原建材興業株式会社

お願い

【その 1】

地盤・地下水環境 NET では、趣旨に賛同いただける会員を募集しております。お知り合いの方に、是非お知らせください。

なお、入会方法は、下記にお問い合わせください。

電話 072-235-3555

http://www.jck-net.org/06_00_entry.html

【その 2】

当会報に掲載する記事を募集いたします。報告、技術紹介、書評、エッセイなど、地盤・地下水環境に関する事項でしたなら、何でも結構ですので、お送りください。

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET

〒599-8123 大阪府堺市東区北野田 575 番地 1

Tel&Fax 072-235-3555

URL <http://www.jck-net.org/>